

# 室蘭工業大学-学報

NO.616



超小型衛星「ひろがり」の共同記者会見の様子（4ページに関連記事あり）

2021年 2月号

## 目 次

### ◇ 学内の動き ◇

専門高校フューチャープロジェクトによる高校教員への研修を開催……………	1
優秀学生表彰式及び懇談会を実施……………	2
令和2年度第2回交通安全等講習会を実施……………	3
超小型衛星「ひろがり」の打上げ予定日が決定し、共同記者会見を実施……………	4

### ◇ 外部資金 ◇

奨学寄附金の受入れ……………	5
受託研究等の受入れ……………	6

### ◇ 人 事 ◇

人事異動……………	7
訃報……………	8

### ◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催……………	9
------------------	---

### ◇ 日 誌 ◇

学内行事……………	10
学外行事……………	10

# 学内の動き

## 専門高校フューチャープロジェクトによる 高校教員への研修を開催

令和2年11月26日（木）及び令和3年1月8日（金）に、高校教員に対するアントレプレナーシップ指導力向上セミナーを開催しました。

本セミナーは、北海道教育委員会の実践的職業教育推進事業「専門高校フューチャープロジェクト」の指定を受けた北海道札幌工業高等学校及び北海道岩見沢農業高等学校から依頼を受けて、オンライン会議システムにより実施したものです。

令和2年11月は、清水一道ものづくり基盤センター長より「SDGを考えた将来のものづくり人材-ものづくり

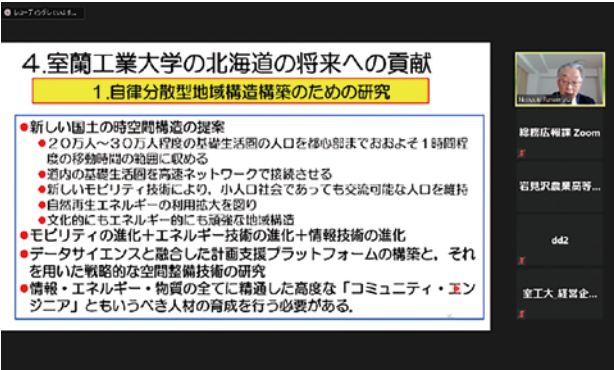
はひとつづくり-」と題して講演を行い、北海道札幌工業高等学校の教員35名が参加しました。

令和3年1月は、船水尚行理事・副学長より「未来に向けてビジョンを共有する-室蘭工業大学の取り組み 北海道MONOづくりビジョン2060-」と題して講演を行い、北海道岩見沢農業高等学校の教員27名が参加しました。

いずれの研修も講演終了後に高校教員から活発な質疑があり、「今後のものづくり・人づくりについて大変勉強になった」と好評のうち終了しました。



清水センター長による講演



船水理事・副学長による講演

## 優秀学生表彰式及び懇談会を実施

令和2年12月9日（水）本部棟大会議室において、室蘭工業大学優秀学生表彰式及び懇談会を実施しました。

この優秀学生奨励金制度は、「室蘭工業大学教育・研究振興会」の支援事業の一つであり、学生全体の学業成績のレベルアップを図ることを主な目的として、学業及び人物ともに優れている学部生に表彰状と奨励金が贈られるものです。

表彰式は、理事、副学長、事務局長、学科長の列席のもと、空閑学長から代表者に表彰状と奨励金が贈呈され、優秀学生への激励に続いて、受賞者代表から謝辞がありました。



優秀学生表彰式記念撮影の様子

## 令和2年度第2回交通安全等講習会を実施

令和2年12月17日（木）、N401講義室において、令和2年度第2回交通安全等講習会を開催しました。

この講習会は、本学学生及び教職員の交通安全意識の向上を目的に年2回開催しています。今回は、講師として室蘭総合自動車学校の鎌田氏から、運転中の注意事項等について、事例を交えながら講演いただき、引き続き、室蘭警察署生活安全課の谷崎氏を招き、大学生が被害に遭いやすい特殊詐欺の危険性や、冬季休暇中の防犯対策について講演いただきました。

参加した44名の学生は、真剣な表情で聴講していました。



講習会の様子

## 超小型衛星「ひろがり」の打上げ予定日が決定し、 共同記者会見を実施

令和3年1月29日（金）、室蘭工業大学と大阪府立大学が共同開発した超小型衛星「ひろがり」の打上げ予定日が決まったことを受け、オンラインで共同記者会見を行いました。

記者会見では、大学院修士2年の林夏澄さんが「衛星の完成がゴールではなく、ミッションを果たして初めてゴールになる」と意気込みを語りました。

また、航空宇宙機システム研究センター長の内海教授は「コロナ禍で作業は遅れたが、チームワークで乗り越

えた。打ち上げが無事に成功して、宇宙での実験で良い結果を得たい」と話しました。

今回、室工大の人工衛星の打ち上げが成功すれば、初めてのこととなります。

打上げ予定日は、2月21日午前2時36分（日本時間）でNASAワロップス飛行施設（米バージニア州）から、国際宇宙ステーションに打ち上げられる予定です。



大阪府立大学とオンラインで共同記者会見



記者会見に臨む内海教授（左）と林さん

## 外部資金

## 奨学寄附金の受入れ

寄附者	目的	金額(千円)
ゴム支承協会	工学研究助成	500
個人寄附者(1件)	工学研究助成	3,000
公益財団法人ときわ会	工学研究助成	2,000
株式会社環境クリエイト	工学研究助成	100
株式会社北建	工学研究助成	1,000
株式会社北建	工学研究助成	1,000
合計(6件)		7,600

## 受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額(千円)
もの創造系領域 准教授 後藤芳彦	地方公共団体	230
合 計 (1件)		230



## 人 事

## 人 事 異 動

国立大学法人  
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和3年1月18日	<p style="text-align: center;">〈命〉</p> 大学院工学研究科ひと文化系領域長 (任期：R3.3.31) 教育研究評議会評議員	竹ヶ原 裕 元	大学院工学研究科教授 (ひと文化系領域)
令和3年2月1日	<p style="text-align: center;">〈採 用〉</p> 大学院工学研究科助教 (もの創造系領域) 兼務：航空宇宙機システム研究センター	江 口 光	宇宙航空研究開発機構 招聘職員
令和3年1月13日	<p style="text-align: center;">〈辞 職〉</p>	今 百合子	総務広報課事務補佐員
令和3年1月16日	<p style="text-align: center;">〈採 用〉</p> 総務広報課事務補佐員	大 木 さゆみ	
令和3年2月1日	クリエイティブコラボレーションセンター 事務補佐員	佐 孝 まゆり	

## 訃 報

教授

黒木場 正 城 (54歳)

本学教授の黒木場 正城氏は、令和3年1月15日に急遽されました。

ここに、生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

同氏は、昭和59年4月に福岡大学理学部に入学された後、平成2年3月に同大学大学院理学研究科博士課程前期を修了し、同9年3月に同大学にて博士の学位を取得されました。その後、同大学助手を経て、同22年10月に室蘭工業大学准教授として着任後、同27年4月に教授に昇任し、同31年4月にひと文化系領域長になられ、本学着任から令和3年1月に逝去されるまでの10年間の長きにわたり、教育研究に情熱を傾けるとともに、本学の発展のために多大な貢献をされました。

福岡大学在籍時の2010年4月から9月までInstitute of BioQuant, University of Heidelberg, Germanyに研究員として在籍後、滞在期間を短縮され、10月から室蘭工業大学に赴任されました。途中帰国は残念だったと思いますが、我々も少し気の毒に思っていました。本学に赴任されてからは、教育、研究、大学運営等において、精力的に活動されてきました。特に、昨年度からは、領域長として奮闘されていました。

研究面では、生物モデルや半導体デバイスモデルを記述する移流拡散方程式系の研究をされており、2016年3月には筑波大学での日本数学会で「高次元移流拡散方程式系の解の有限時間爆発について」という題目で特別講演を行いました。最近では、粘菌の集合体形成を記述するKeller-Segel 方程式やその極限方程式として導かれるNagai モデルについて研究をされていました。黒木場先生は、大きな初期値かつ有限時間爆発解を含む解に対して、scaling不変なLebesgue-Bochner空間で、Nagai モデルが Keller-Segel 方程式の特異極限として得られる事を示されました。先行研究では、小さな初期値の時間大域解のみを扱っており、黒木場先生の研究成果は、この分野の研究を大きく前進させたのみならず、他の非線型モデルの解析にも大きい影響を与えています。また、多成分の移流拡散方程式系の解の構造、特に解の有限時間爆発条件についても多くの研究結果を残されています。

また、黒木場先生は多くの研究集会を主催されてきました。特に、平成23年から室蘭非線形解析研究会を主催し、毎年1回行ってきました。令和3年1月8日(金)、9日(土)には第10回を開催したばかりでした。平成24年からは解析および幾何の分野から講演者を招待する室蘭連続講演会を開催し、合計7回開催されました。さらに、平成25年からは応用解析セミナーを年3回ペースで開催されており、国内、海外から講演者として21名の方が室蘭に訪れています。その他、平成28年11月には洞爺湖で国際研究集会「Korean-Japan International Workshop of Nonlinear Differential Equations」、令和元年11月には北九州市の北九州国際会議場で国際研究集会「Chemotaxis and Nonlinear Parabolic Equations」を主催し、日本、韓国、ポーランド、ドイツ、中国、フランスなどの著名な数学者と研究交流を行いました。

黒木場先生は、いつも学生諸君を気遣っておられ、質問にも誠意をもって対応されていました。大変優しい人柄で、同僚の先生にも慕われておりました。10年余りのお付き合いでしたが、先生が遺された様々なことは、我々にとって大変貴重な記憶として残るでしょう。

心からご冥福をお祈りいたします。



## 学内会議

### 学内各種委員会等の開催

<12月25日～1月24日>

**開催日時** 令和3年1月7日（木）  
**会議名** 第9回教育研究評議会

**開催日時** 令和3年1月12日（火）  
**会議名** 第19回役員会

**開催日時** 令和3年1月12日（火）  
**会議名** 第7回企画戦略会議

**開催日時** 令和3年1月14日（木）  
**会議名** 第7回大学院工学研究科博士後期課程専攻長会議

## 学内行事

- 1月15日（金） 合格発表（大学院博士後期課程外国人留学生入試（国外出願第2次募集））
- 1月16日（土） 大学共通テスト（17日まで）
- 1月22日（金） トレーニング機器管理安全講習会

## 学外行事

- 1月8日（金） 北海道岩見沢農業高等学校「専門高校フューチャープロジェクト」令和2年度アントレプレナーシップ指導力向上セミナー（オンライン）
- 1月14日（木） 北海道機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー「ものづくり現場で役に立つAI技術とその応用」（オンライン・札幌市）
- 1月20日（水） 令和2年度冬の進学相談会in東京（23日まで：オンライン）
- 1月20日（水） 情報システム脆弱性診断（ペネトレーションテスト）事前説明会（オンライン）
- 1月22日（金） 2020年度大学図書館シンポジウム「オンライン授業における図書館の役割」（オンライン）

## 編集後記

---

◆ 教職員の皆様からの随想，提言等の御寄稿，あるいは学報への御意見，御希望，また，日頃感じていることなど多数お寄せくださるようお待ちしております。

(リンコム：総務広報課総務広報係，E-mail：koho@mmm.muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)

---



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

- 編集発行 室蘭工業大学総務広報課  
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014
- 印刷所 株式会社日光印刷  
電話 0143-47-8308